



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
 宣教100～110周年標語
 감사의 백년, 소망의 백년
 感謝の百年、希望の百年
 (데살로니가전서 5:18)

発行所 **福音新聞社** (1部100円)
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 電話 03-3202-5398
 発行人/金 武士・編集人/洪 性完
 fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)
 info@kccj.jp (総会事務局)

第46回 在日大韓基督教会と 日本基督教団との宣教協議会



去る6月4日(月)～5日(火)、静岡県熱海市で、「両教会の宣教課題と宣教協力ー日本における伝道を巡ってー」という主題の下で、KCCJとUCCJとの宣教協力委員会が開催された。開会礼拝は、張田真牧師(UCCJ宣教委員長)の司会で、石橋秀雄(UCCJ総会議長)がマルコ8:27-30のみ言葉をもって、「断固たる信仰告白」という題で説教した。

その後、雲然俊美牧師(UCCJ書記)の司会で、近藤勝彦東京神学大学学長が「両教会の宣教課題と宣教協力ー日本における伝道を巡ってー」について神学的な観点から講演した。夕食後、内藤留幸牧師(UCCJ総幹事)の司会で出席者の紹介・前会議録確認・両教会紹介・両教会東日本大震災の支援活動報告がなされた。許伯基牧師(KCCJ幹事、つくば東京教会)は、スライダーを通して仮設住宅炊き出し奉仕について、加藤誠牧師(UCCJ幹事)はエマオセンターを中心に奉仕をしていることを報告した。

2日目は、許伯基牧師の司会でKCCJ浪速教会(愛の家)の金鐘賢牧師が「ホームレス宣教に関するケーススタディ」を発題した。金牧師は「野宿生活者(ホームレス)と共に歩んだ浪速教会の宣教活動」と題して、2012年7月で創立15周年を迎えるまでの厳しい宣教活動を振り返りながら、野宿生活者と共にする教会の形成、創立10周年記念事業として教会と「愛の家」センター建築、宣教活動と展望について熱く語った。参加者は大きな賛同と恵みを受け、質疑討議の時間が延長されるほどであった。

引き続き、両教会の総幹事(内藤留幸総幹事・洪性完総幹事)司会で、「講演と発題について」、「平和メッセージについて」、「両教会の具体的な伝道協力について」、「歴史の共同研究について」の協議がなされた。

最後の閉会礼拝は、崔榮信牧師(KCCJ宣教委員長)の司会で、金武士牧師(KCCJ総会長)がサムエル記上14:25-27で「ヨナタンの蜜」と題しての熱い説教が語られた。金総会長は、「今、臨界状況に落ちている個人・教会・牧師・教会員が多くいる。こういう状況の中で大切なことは、蜜のある森の中に入る事だから、その森を探し、その森を待ち望むことが強く求められる」と訴えた。

この宣教協議会で協議・修正された「2012年平和メッセージ」は、8月に発表される。

(報告:編集部)

郡山仮設住宅支援プロジェクト 「収穫は多いが、働き手は少ない」

去る2月19日より毎月1回、2013年1月までの1年の予定で、郡山仮設住宅支援プロジェクトが進められている。現在このプロジェクトは、海外・国内からの支援金を管理している総会社会委員会の後援を受け、関東地方会社会部が主催し、東京教会、水戸教会、郡山伝道所を主軸にして行われている。対象は郡山市とその近隣市町村に点在している仮設住宅で、ここには福島県富岡町、浪江町、双葉町、川内町など、原発事故による警戒地域から避難中の方々が暮らしている。支援の内容は主に韓国料理の炊き出しであり、郡山伝道所による賛美やプチェチュム、ダンスなどのミニコンサートも併せて行われている。(2面に続く→)



3月24日(土)の炊き出しは、郡山市富田町若宮前仮設で行われ、約500食を配布した。ユッケジャンとご飯、キムチという、一般の日本の方々にはおそらく手強い味覚のメニューであったにも関わらず、好評を得た。この炊き出しには東京教会、水戸教会、郡山伝道所、ハンサラン教会、東京源泉教会、東京蒲田教会、つくば東京教会、そしてはるばる長野から長野教会の牧師・信徒たちがボランティアとして参加し、総勢30余名の布陣となった。

4月14日(土)の炊き出しは、三春町沢石仮設で行われた。この仮設は住民50人ほどからなる小さな仮設であり、天候(雨)や周辺状況(アスファルト舗装工事中)などの悪条件のため、集会場をお借りして室内で行われた。メニューはユッケジャン、チヂミ、キムチ、ご飯であり、特にその場で調理された焼きたてのチヂミは好評であった。この回では住民とスタッフが食事を共に取りながら交わることが出来、直接いろいろなお話を伺う貴重な機会となった。食事後には郡山伝道所によるミニコンサートが開かれ、和やかなひとときとなった。ボランティア参加者は水戸教会、郡山伝道所、つくば東京教会、日本基督教団水戸中央教会、郭恩珠および信徒一名の約20名となった。



5月12日(土)の炊き出しは、三春町柴原荻久保仮設住宅で行われた。強風の中、約50名の住民にイカの辛み丼(オ징어덮밥) 卵スープ、キムチが配られた。この日は野外でのミニコンサート(郡山伝道所)に加え、つくば東京教会の賛美チームによるゴスペル演奏も加わり、炊き出しの雰囲気盛り上げた。参加ボランティアは水戸教会、郡山伝道所、つくば東京教会、大宮教会から各数名、そして郭恩珠牧師と信徒一名の20名弱であった。

季節は夏に向かい、これからの炊き出しでは衛生面や食品管理に万全の注意が必要となる。また始まった当初に比べてプロジェクトに対する関心が薄れ、ボランティアの人数確保に苦勞する状況が続いている。被災地、特に原発事故による被災地では、長くつらい戦いは続く。彼らを慰め、励まし、神の愛を伝えるための働きに、多くの働き手が各個教会から送られることを祈るばかりである。(報告:許伯基牧師)

<関東地方会>教会女性連合会 第60回 定期大会開催

지난 3월 20일 (화), 관동지방회 요코하마교회에서 관동지방여성연합회 제60회 정기대회가 10교회의 대의원 40명중 34명 출석으로 개최되었다.



1부 예배는 한상육 부회장(동경교회)의 사회로 이명총목사가 [사랑으로 걷는다. 愛に歩む](요한 2서 5,6절)라는 제목으로 설교를 하고나서 성찬식을 거행하였다. 2부에서는 김방식회장(요코하마교회)이 출석을 확인한 후에 개회선언을 하고나서 새로운 대의원과 내빈을 소개하였다. 이어서 경혜중목사(시나가와교회 명예목사)가 여성연합회 60주년을 축하하고 격려하는 소중한 메시지를 전하였다.

이러진 회의에서는 2011년도 각부 보고에 이어서 사진 촬영 및 중식을 하였으며, 전국교회 여성회 성서세미나의 DVD를 관람한 후, 2012년 예산안 심의와 60주년 1박 연수회 계획 등이 논의되었다. 그 외에 전국교회 여성연합회 헌법개정제에 대해 김필순목사(여성회 총무)가 보충 설명을 하였으며, 다음 정기대회 장소로는 동경교회가 결정되었다. 제3부에서는 김방식회장의 사회로 폐회예배와 대회를 모두 마쳤다. 관동지방회 여성연합회의 무궁한 발전과 성장을 기원하고 하나님을 의심없이 믿고 순종하는 여성회가 되기를 기원한다.(보고:김혜진서기)

학습과 세례를 위한 준비교육 소책자 (學習・洗礼・入教教育 小冊子)

학습・세례・입교 교육의 모든 교육을 하실 때에는 이 준비교육 소책자를 이용하시면 매우 유익합니다.

- 한국어 일본어 겸용이네요!
- 현대어 표현으로 알기 쉬워요!
- 글씨가 크고, 내용도 충실하네요!
- 신청: 총회事務局 (03-3202-5398)



在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して2006年4月25日、創立100周年を迎えました。



- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル):フロントは日・韓・英語を対応、24時間サービス。10名様から200名様の会議及び宿泊研修(50名様)も可能
- ◆スペースワイホール:220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCA アジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

在日本韓国 YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国 YMCA アジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5

関西韓国 YMCA アジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道 3-14-15

(税込み)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592

朝食 ¥200 カルピックUP、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒー付き)

TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

＜関西地方会＞ 聖歌隊連合会 結成 30 周年 記念集会開催



去る 4 月 8 日の復活節礼拝の午後、大阪教会にて、関西地方聖歌隊連合会結成 30 周年記念集会が行われた。集会内容は、記念礼拝、スライド上映（関聖連 30 年の歩み）、特別讃美集会、交流会という構成であった。

まず、記念礼拝では、大阪西成教会の金武士牧師（総会長）が、「聖歌隊の使命」という題目で説教をし、参加者一同は改めて礼拝における聖歌隊の重要性を心に刻んだ。第二部では、関聖連結成当時から 30 年に渡る活動の写真がスライドで上映された。また歴代関聖連委員長、指揮者、伴奏者を紹介した。出席された歴代委員長たちも懐かしそうに見て、感動していた。

特別讃美集会では、「福音を讃美で」というテーマのもと、関西地方の個教会聖歌隊により自慢の讃美が披露された。京都教会、京都南部教会、大阪北部教会、大阪教会、布施教会、大阪西成教会、平野教会の順で讃美した。

その後、30 周年記念の為に特別編成された 40 人の関西合同聖歌隊による、「主の祈り」（尹聖澤長老指揮）・「ハレルヤ」（金必順牧師指揮）の讃美で集会を締めくくった。1982 年の復活節に誕生した関聖連、30 年後の復活節も恵あふれる一日となった。

（報告：森克之、関聖連書記、大阪教会）

2012 年 全国教役者・長老研修会

- ・日時：7 月 16 日（月）～18 日（水）
- ・場所：長崎県平戸（日本の聖地巡礼 3）
- ・主題：키리ستان의 역사를 배우자！

「キリスタンの歴史を学ぼう！」

現場見学中心の研修会ですので、申請期限日を守って、ぜひご参加下さい。

在日大韓基督教会教育委員会

＜西部地方会＞ 教会女性連合会 主催 第 18 回 復活節合同讃美礼

西部地方教会女性連合会主催による第 18 回復活節合同讃美礼拝が、4 月 8 日復活節の午後 4 時より、武庫川教会堂にて開催され、150 名以上が参加し盛大に行われた。この讃美礼拝は 2 年毎に女性会が開催する合同讃美礼拝である。遠方は、岡山を始め、明石、姫路、姫路薬水、神戸、神戸東部、西宮、西宮弟子、武庫川、川西の 10 教会が参加し、素晴らしい讃美礼拝の時間を持った。

第 1 部の開会礼拝では、李聖雨牧師（武庫川教会）が「信仰と復活」という題で説教した後、第 2 部の合同讃美礼拝が開かれた。ゴスペルや復活の喜び溢れる讃美やバイオリン、チェロ、ギター等の楽器も加わり、各教会のそれぞれ特徴ある曲を主に捧げた。回を重ねるにつれ女性会会員だけではなく、全信徒が参加するようになり、西部地方会の信徒達の交流を深める行事となった。



閉会は、李炫知会長の挨拶と報告の後、「われ主の栄光を見る」を讃美し、梁榮友牧師（岡山教会）の祝祷をもって終わった。そして、この日の感謝献金は、東北大地震の為に「会津放射能情報センター“放射能から子供の命を守る会”」に全額を献金した。最後に、私たちの罪を清め、赦し、神さまとの和解のために十字架に付けられ死んでくださった主に感謝し、復活によって信仰の勝利を見せてくださった神さまに大きな拍手をもって栄光を捧げた。

夕食は、武庫川教会女性会が軽食を用意し、愛情溢れる愛餐会になった。この讃美礼拝のため影で奉仕して下さった、武庫川教会女性会の皆様の温かい愛に、主にあって兄弟姉妹となった喜びを味わった。（報告者：賓景淑書記）

豊かな味はこころまで豊かにする。



代表取締役 吳永錫
（東京希望キリスト教会 長老）

四谷本店

東京都新宿区四谷 3-10-25
Tel. 03-3354-0100
Fax. 03-3353-6200

〈関東地方会〉復活節祝祭 東京聖山キリスト教会が優勝！



関東地方会の「復活節祝祭」が、去る4月8日（主）、午後3時よりサンパル荒川にて開催された。祝祭は第一部の礼拝に始まり、まず西新井教会の青年讚美チームの特別讚美がなされる中、会場の雰囲気が整えられ、ひきつづき関東地方会会長、韓聖炫牧師（西新井教会）がコリントの信徒への手紙二、2章14節によって説教をし、そこで参加教会の讚美チームひとつひとつに呼びかけて、士気を高めた。

第二部に移り、金ヨセフ・徐有珍両伝道師（東京教会）の司会の下、関東地方会所属の14教会と教会学校児童部、青少年部、青年部のチームが練習を重ねてきた讚美を披露し、主イエスのご復活の喜びを表した。前回から、お楽しみとして教会・地方会所属機関・個人が提供してくれた景品の抽選会が実施され、今回も7教会、1機関、3長老の方々から韓国往復の航空券やCDステレオ、その他多数の景品が提供され、大いに盛り上がった。

抽選の間、韓聖炫牧師、林栢生長老（東京教会、地方会副会長）、呉永錫長老（東京希望キリスト教会）3名の審査員による審査が行われ、今年度最優秀に水戸教会の讚美チームが選ばれ、記念品として40インチのテレビが贈られた。第二部の閉会にあたり、讚頌歌154番を全員で讚美し、金君植牧師（東京教会名誉牧師）の祝祷がなされた。今回、参加者は、約650名を数え、復活節の祝祭を盛大に挙げてきたことは大きな喜びであった。

今回は、特別プログラムとして東京キリスト宣教会（代表：金君植東京教会名誉牧師）の協力で韓国、漢陽大学校教授でテノール歌手のペ・ジェ Chol 氏の特別公演が行われた。ペ氏は、アジアを代表する世界的なテノール歌手であったが、甲状腺癌を患い、手術の際、声帯を傷つけ、歌手として絶望的と言われていたが奇跡的に回復、今回迫力ある歌声を聴かせてくれた。間もなく、ペ氏のこれまでの歩みをたどったドキュメント映画が作製されるということである。フィルムの完成を待つとともに、益々のご活躍を期待したい。

（報告：金 健）

〈西部地方会〉教会女性連合会 第27回 定期大会開催

西部地方女性連合会第27回定期大会が4月12日（木）午前11時より明石教会堂において13教会1伝道所中7教会の代議員18名の出席で開催された。開会礼拝は崔美恵子副会長の司会により始まり、金鍾樞牧師（明石教会）が「召されたところで」（ヨハネ4：23、24）と題しての説教を通して、「二つの価値観のなかで片方を余儀なくされても、神を敬うことを第一に考え、神の側に立ち行くことが大事である」と語られた。

続いて、金鍾樞牧師の司式、梁榮友牧師（岡山教会）、韓世一牧師（神戸教会）の賠餐により聖餐式が執り行われた。李炫知会長の開会辞では、一年間の任期を神に守られ無事に終える事が出来たことの感謝を述べ、開会宣言をした。代議員と来賓紹介の後、金貞姫全国女性会会長の祝辞があった。昼食は明石教会女性会が奉仕した。

午後から、金必順牧師（全国女性会総務）より、2月7日－8日に開催された全国女性会主催の聖書セミナー（於：名古屋教会）の紹介を映像で紹介し、原発について貴重な勉強会を持てた。続いて議事に入り、献議案では、裴明德牧師（神戸東部教会）に対して『神戸東部教会の総会脱会の件に対し謝罪を求める』内容で、西部地方会に要望書を提出する事の賛成と承認があった。



そして、次年度予算案が承認され2012年度活動報告として、定期大会、三役連席拡大会議、一日研修会、修養会、信徒の集い、会長会議、世界祈祷日の予定が討議された。閉会礼拝は李炫知会長の司会で梁榮友牧師による「真の主の弟子となる信徒」（ルカ14：25－35）と題してのメッセージがあり、「心からの祈りは、私達の救いであり支えである」と説かれ、祝祷をもって閉会した。

（報告：賓景淑書記）

第 13 回 韓国女長老会連合会総会 に参加して (寄稿)

去る 4 月 18 日、基督教大韓監理会、長老会、韓国基督教長老会、大韓イエス教長老会の 3 教団女性長老の代表 150 人が〈女伝道会館 2 階〉で一同に会して、年に一度の総会が行われた。在日大韓基督教会からは、金錦順、金貞子両長老が参加した。主題は、「信仰の母、民族の母」で（総会主題の「生命・平和・分かち合い」）、主題の内容がそのまま行動となって活動されていることに感銘を受けた。



今日の韓国教会、各教団の低力として、陽の当たらない部分を背負い、成長の要を支えて来た女性たちの連帯の姿を女性長老の一人一人の輝きの中に見ることが出来た。報告内容の殆どが弱者への支援活動（募金活動）だった。その一部分を紹介してみると、「ベトナム戦争時、韓国軍兵士たちによる遺児、孤児が成長し、認知されないまま社会の中で少数民族として扱われている。親子への生計費用として山豚一匹を 20 万円で買い、農場で育てさせ、売った利益を充当する。また、1軒350万円で家を建て住まわせる。ある親子の話では、家のない母娘がその新しい家に入り、1週間後に母親が亡くなった。最後の1週間をその新しい家で住んだ」という話を聞かされた。

NCC 総務の召命 李牧師の開会説教では、「韓国教会が成長主義に走り、本来の信仰から離れた教会形成をして来た。社会の効率主義が教会組織の中に投影され、教会が病んで来ている。青年たちの育成に必要なのは、〈賢い人より良い人〉(똑똑한 사람보다 착한 사람)である」という象徴的な話をされ、人間作りが最も重要だという、心にズシンと来るメッセージだった。

女性連合会代表の崔素英牧師は祝辞の中で、「女性長老をよく出す教会は、率直で積極的に教会を引っ張る。そして、連帯し、知恵を持って女性が女性を選ぶ成熟した信徒へと育てる事が出来る。その指導力が全体を豊かにする。女性長老 30% 以上の教団には、良い先輩がいる。70-80 歳になっても聖歌隊奉仕をする。奉仕に停年がない。女性たちが潜在的に持っている能力を生かす事が重要だ」等を熱弁された。

年齢に関係なく、生き生きと奉仕される姿がとても美しかった。

(報告：金貞子、小倉教会)

〈中部地方会〉教会女性連合会 第 52 回 定期総会



中部地方教会女性連合会の第 52 回定期大会が 4 月 27 日、名古屋教会にて、7 教会 1 伝道所の 33 名の代議員出席で開催された。開会礼拝は鄭恵子副会長（名古屋）の司会で、金必順牧師（全国女性会総務）より「女性会の立つところ」（ヨハネによる福音書 8 章 1～11 節）と題して説教があり、金必順牧師の司式と朴洋子長老（名古屋）の配餐により聖餐式にあずかった。

続いて金甲粉会長（豊橋）が開会辞を述べ開会を宣言し、来賓紹介のあと朴太元牧師（豊橋）、金貞姫全国女性会会長、鄭静子歴代会長より祝辞がり、写真撮影に入った。名古屋教会女性会の心のこもった料理を共においしくいただき、昼食後議事に入った。

朴京子（一宮伝道所）副書記の前回会議録朗読のあと、各部報告と各教会報告が行われ、金純子副会計（名古屋）による報告の後、会計監査報告が受理された。年度計画は役員に一任され、副会計から 2012 年度予算案が発表され通過した。このあと全国女性会総務より「全国女性会をもっと知ってもらうために」前回の女性のための聖書セミナーの DVD（講師：内藤新吾牧師）を見、全国女性会の憲章改定の必要性を金貞姫全国女性会会長と共に説明、質疑応答された。さらに四局合同研修会を被災地郡山市で開催、参加要請を促がし、次回大会場所を大垣教会とし議事を終了した。

閉会礼拝は、金甲粉会長の司会で金仁果牧師（岐阜）が「祝福」（創世記 12 章 1～8 節）と題しての説教があり、祝祷をもって閉会した。（報告：金甲粉）

福音新聞原稿募集

- ・内容：各報告、証し、説教、寄稿、自由投稿等
- ・対象：在日大韓基督教会所属の全信徒
- ・言語：韓・日語（得意な言語でお願いします。）
- ・写真：1-3 枚程度（添付ファイル）
- ・期間：年中（締め切り：毎月 20 日）
- ・送信先：fukuinshinbun@kccj.jp
shinacho2003@daum.net

*文章は、word でお願いします。

福音新聞社 編集部

＜報告＞全文掲載

西南地方会青年会 春の修養会



4月29日(主)～30日(月)福岡県津屋崎において春の修養会が開催されました。現在西南地方青年連合会は組織としては活動を休止しているため、今回は青年会全国協議会(全協)主催という形となりました。今回の修養会は、同じ地方のKCCJに連なる同世代の仲間とのつながりをつくり、西南地方連合青年会再生のきっかけにする、という目的のもと全協の地方会振興部が企画したものです。参加者は西南地方各教会(5教会)と、全協から4名の青年を加え、総勢27名もの青年があつまり、実りある時間を過ごすことができました。

西南地方青年担当の辛治善牧師任(別府教会)より開会礼拝のメッセージをいただき、1泊2日のプログラムが始まりました。初めて出会う青年が多く、特に留学生の参加者のなかには日本に来てまだ数か月という青年もいましたが、自己紹介を通したゲームでお互いの名前を覚えすぐに打ち解けていました。



ワークショップでは地方会振興部長でもある川崎教会の郭正勲青年より「信仰と表現」というテーマで講演行われました。ラップを通して自分を表現するという内容で「日本」「韓国・朝鮮」「信仰」「自分」という4つの言葉をつかい、参加した全員がラップの歌詞をその場考えリズムに合わせて読み上げていきました。リズムに合わせて自分の思いを吐き出すように表現するというラップだからこそ、素直な気持ちを表現することができていたのではと思います。全員のラップの歌詞はそれぞれの素直な思いがこもっていて、心熱くなる時間でした。

2日目も全体でのワークショップ・振り返り、津屋崎の海辺にてBBQが行われ、お腹も心もいっぱいになりました。そして全国の修養会や各教会の青年会の交流会を通じての再会を約束し、恵みの中で修養会を終えることができました。

西南地方は教会同士の距離も遠く、また就職や進学で地方を離れてしまう青年も少なくありません。このような状況で青年会の組織はなくなりましたが、全国に同世代の信仰の友がいて、つながれることは青年期においてとても勇気づけられると考えています。私自身も全協・地方会振興部としての重要な役割を再認識した修養会となりました。



また今回は留学生の参加も多く、参加者の1人は「韓国では教会に行っていなかったけど、日本に来て寂しい生活が辛いから友達と教会に来るようになった。」と言っていました。青年間での使う言語が異なったとしても、信仰の友としてのつながりには変わりないし、お互いに新たな発見もあります。この出会いを大切に今後も全国の青年会としての活動を続けていきたいです。

最後にこの修養会を開催するにあたり、祈りとともに支援して下さった全国の信徒の皆様、特に西南地方青年部、西南地方女性連合会、2日目の食事の用意をして下さった小倉教会の信徒の皆様に感謝いたします。これからも、全国の青年を覚え温かな支援をしていただければ幸いです。

(報告者：朱美恵)



お詫びと訂正：5月号の3面の＜西南地方会＞女性連合会第58回定期大会写真を間違いましたので、訂正してお詫びいたします。

創世記連続講解 (12)

尹宗銀 牧師
(横浜教会名誉牧師)



創世記 23 章

創世記 23 章の総主題は、「サラの死別」である。

- ① 1-2 節：愛妻サラが死別する。
- ② 3-4 節：アブラハムが埋葬地を求める。
- ③ 5-6 節：ヘト〔Heth〕人たちが快く墓地を提供する。
- ④ 7-18 節：マクペラ〔Machpelah〕の洞穴を買い取る。
- ⑤ 19-20 節：サラを洞穴に埋葬する。

本章は、サラの死別（享年 127 歳）に対する記事である。これは、アブラハムにとって一種の心の試練である。信仰生活 60 年間同苦同楽した愛妻サラの死別は、老齡アブラハムにとっては非常に悲しみであった。サラは、実にイサクに対しては賢母であり、アブラハムにとっては良妻であった（ペトロー 3:6）。

聖書の中に婦人の享年を記録したのは、サラだけである。これは、彼女の特別な人格の地位が高かったからである。感情の豊かなアブラハムが長い歳月の間旅人の生活の中で苦楽哀慶を共にした連れ合いを失うことは、まことに嘆かわしい事であり、今昔の感に堪えなかった。

この土地は、約束の地であることは間違いない。しかし一歩の幅の土地さえなかった（使 7:5）。彼は、旅人の生活をしてきた。彼は、更にまさった天の故郷を熱望したので、地上では旅人の生活をせざるを得なかった（ヘブ 11:16）。唯一の所有があるとすれば、妻を埋葬する墓地だけであった。

5-6 節に、神の人に對外への感化力を見ることが出来る。ヘト人たちに「あなたは、わたしどもの中で神に選ばれた方です」と言われた。神の人の清廉な〔upright〕態度を見ることが出来る。ヘト人たちがヘブロンに対する土地の代価を辞退しにもかかわらず、正当な代価を支払って正式に所得した。これは、妻の死体を自分の土地に安葬するためであった。わたしたちは、死体に対するアブラハムの態度を学ばねばならない。

創世記 24 章

創世記 24 章の総主題は『イサクとリベカの結婚』である。

- ① 1-9 節：アブラハムが家令エリエゼルにイサクの結婚について依頼する。
- ② 10-15 節：エリエゼルがリベカ〔Rebekah〕に出会う。
- ③ 16-27 節：エリエゼルがラバン〔Laban〕の家に行く。
- ④ 28-49 節：エリエゼルが結婚話を始める。
- ⑤ 50-60 節：婚約式とリベカの出発の準備。
- ⑥ 61-67 節：リベカがイサクに嫁ぐ。

本章は、イサクの結婚問題に関する記事である。イサクの血統は、メシアの祖先になる者なので純潔を要する。

アブラハムは、家令エリエゼルに息子の結婚問題を依頼するために主に掛けて誓いをさせる。その僕エリエゼルは、忠実なる僕であった。息子イサクをメソポタミアのナホルの町に連れて行かないでほしいと頼むのである。僕は、使命を担ってメソポタミアのナホルの町に着いて井戸の傍らでリベカに出会い見合いをした。

リベカに対しては、

- ① 際立って美しい。
- ② 心が柔和であった。
- ③ 親切に奉仕した。
- ④ 率直であどけない。
- ⑤ 旅人を尊敬していた、という。

以上のあらゆる点を見て僕は、これは偶然なことではなく、神の指示であると悟り、彼女の父ベトエル〔Bethuel〕の承諾を得て、金銀鼻輪や腕輪や衣服などの礼物を贈り婚約は無難に成立した。目的を達成した僕は、時間を遅らすことなく出発を催促していた。

父母が 10 日間の準備期間を要請したにもかかわらず、リベカの同意を得て花嫁を同伴してカナンに戻って来てイサクの妻として嫁がせた。

本文に現れたイサクの結婚は横範的な結婚である。

- ① 仲介者を通して、
- ② 当事者同志の合意、
- ③ 父母の承諾など、

今日においても見習うべき点が多いと思われる。

피재지 가설주택 급식봉사자 모집 被災地仮設住宅、炊き出しボランティア募集

- ・場所：福島県郡山市仮設住宅
- ・期間：2012 年 2 月～2013 年 1 月（月 1 回／計 12 回）
- ・参加資格：どなたでも（小中学生は保護者同伴）
- ・集合場所：水戸教会
- ・集合時間：前日の午後 3 時
- ・準備物：1 泊用の準備、寝袋
- ・申し込み方法：氏名、性別、年齢、教会名、連絡先を明記し、「炊き出し参加希望」と書いて、
email(baekki@mac.com) を。
または、各教会の教役者に相談。

<今後、奉仕予定日>

6 月 16 日（土曜日）、7 月（未定）、8 月 25 日（土曜日）、9 月 17 日（月、敬老の日）、10 月 8 日（土、体育の日）、11 月 23 日（金、労働感謝の日）、12 月 9 日（土曜日）、2013 年 1 月 14 日（月、成人の日）

★上記の予定日は、事情により変更される間もありますので、現地に関する問い合わせは、朴正根牧師（080-1817-2897、郡山伝道所）、炊き出しに関する問い合わせは、韓在文牧師（080-5050-8291、水戸教会）に連絡して下さい。

関東地方会社会部

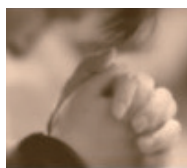
牧師・伝道師考試及び加入宣教師加入考試 2012/2013年度 緊急経過措置

2012年度9月予定並び、2013年度9月予定の「牧師・伝道師考試及び加入宣教師考試」に関わる緊急措置となります。

第51回定期総会における「献議案第11号」の決議が実行されるため、第51回総会期第二回常任委員会(2012年4月10日)は、緊急措置として以下のような仮承認をいたしました。

献議案第11号の決議に伴う、神学考試委員会細則が改正される第52回定期総会までの間、緊急の経過措置として、今までの神学考試委員会細則による受験資格及び研修会の慣例をも認める。

献議案第11号	
改正前	改正後
(学則第6条) 「入学受験資格 大学卒業以上」	5年正規課程； 入学条件：高校卒業者及び同等資格者 3年正規課程； 入学条件：大学卒業者及び同等資格者 1年正規課程； 他神学校卒業者及び宣教師 前期6ヶ月：神学校で学ぶ 後期6ヶ月：各地方会巡回 研修、各教会奉仕 牧会者継続教育課程； 牧会現場に必要な教育、 コンピューター、 映像、教会財政及び経営など



3.11 東日本大震災 KCCJ 募金口座案内

- ・銀行 (BANK) : 三菱UFJ銀行
(THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, Ltd)
 - ・支店 (BRANCH) : 高田馬場支店 (TAKADANO-BABA)
 - ・種類 (SWIFT) : 普通預金 (BOTKJPJT)
 - ・口座 (A/C) : 053-1615275
 - ・名義 : 在日大韓基督教会總會
(THE KOREAN CHRISTIAN CHURCH IN JAPAN)
- ※常時、募金しておりますので、上記に送金して下さい。

2012年度 牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試 公 告

神学・考試委員会は、2012年度牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試を以下のように実施します。

- 日時：2012年9月17日(月)
 - ・会場集合：09:30(時間厳守)
 - ・筆記試験：10:00-17:00
 - ・面接：17:00-19:00
- 場所：大阪 KCC (在日韓国基督教会館)
 - ・大阪市生野区中川西2-6-10
 - 電話 (06) 6731-6801
- 考試科目
 - ・牧師・伝道師
 - ①旧約聖書 ②新約聖書 ③旧約釈義 ④新約釈義
 - ⑤組織神学 ⑥教会史 ⑦憲法(總會憲法・總會規則・勸懲条例等)・KCCJ 神学(在日同胞史、KCCJ 史、KCCJ 宣教理念)
 - ・宣教師加入
 - ①憲法(總會憲法・總會規則・勸懲条例等) ②面接
- 提出書類
 - ①考試請願書(總會様式) ②地方会長推薦書(總會様式)
 - ③履歴書(總會様式) ④神学生研修会参加証明書(伝道師応募者) ⑤最終学校卒業証明書・卒業予定証明書
 - ⑥最終学校成績証明書(伝道師応募者) ⑦写真3枚
- 期限：2012年8月31日 必着
- 考試料(願書提出時に、總會事務所に送金すること。8月31日必着)
 - ・宣教師・牧師：20,000円
 - ・伝道師：10,000円
 - *郵便振込口座：000130-9-159228
(在日大韓基督教会總會)
- 考試料・交通費は、応募者の所属する各教会と各機関で補助して下さい。
- 提出先：總會事務局
東京都新宿区西早稲田2-3-18-52号
電話：03-3202-5398
- 書類及び予想問題集は、總會ホームページからダウンロードして下さい。(http://kccj.jp/)

2012年6月1日
神学考試委員長 李根秀牧師
総会長 金武士牧師

교육목사 및 교육전도사 (신학생) 청빙 教育牧師・教育伝道師(神学生) 招聘

- * 교육목사 (教育牧師) : 若干名
- * 교육전도사 (教育伝道師・神学生) : 若干名
- * 제출서류 (提出書類)
 - ・이력서 (履歴書・写真) - 信仰歴과 奉仕歴을 반드시記入할 것.
 - ・자기소개서 (自己紹介書: A4 2枚程度)
- * 모집기간 (募集期間) : 2012年6月30일까지
- * 제출방법 (提出方法) : 우편 (郵便)、E-mail
 - ※제출 전에 교회로 연락바람 (提出前に教会に連絡要)
 - 住所 : 〒162-0827 東京都新宿区若宮町24番地
 - E-mail : guide@tokyochurch.com
- * 문의 (お問い合わせ) : 03-3260-8891 (事務室)

在日大韓基督教会 東京教会